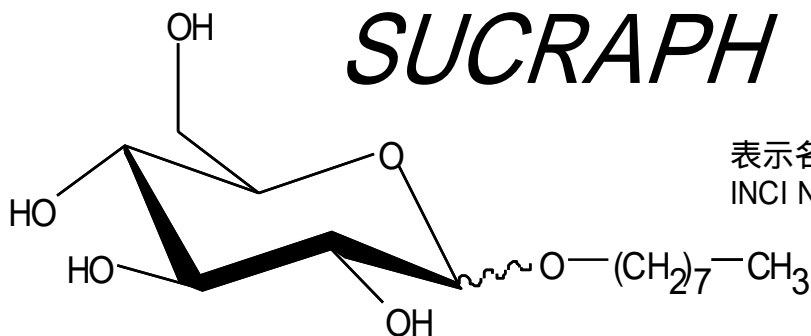


SUCRAPH AG-8



表示名称:カプリリルグルコシド
INCI Name : CAPRYLYL GLUCOSIDE

SUCRAPH AG-8 は、糖<親水基>とアルキル基<疎水基>がグリコシド結合で結ばれた界面活性剤で、化粧品素材、染色助剤の分野で特異な機能が認められています。

アルキルグルコシドは生分解性が高く、毒性が低い界面活性剤として広く利用されています。

特長

水溶性で低毒性の非イオン性界面活性剤で、セルロース、ケラチン等と親和性があります。

ケラチン、酵素といったタンパク質に対してマイルドな界面活性剤で、**染毛時の濃染、速染、均染効果、酵素の安定化・活性化**など他のアルキルグルコシドには見られない特異な機能があります。

幅広いpH(3~11)領域で長期間安定です。

アルカリ安定性試験

試験法: 100 の20%NaOH水溶液にAG-8を2%溶解させた後、20 にて静置。

経時安定性試験

試験法: AG-8の2%水溶液を調整(pH3~11)し、50 に静置した。

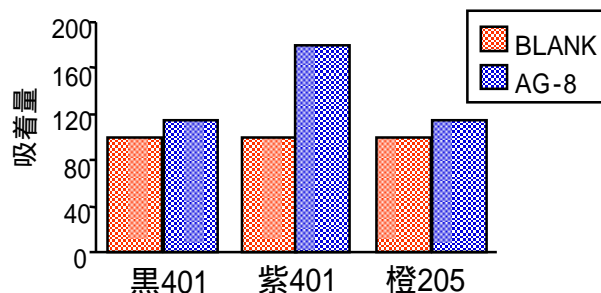
*: GCによりサンプル中の遊離アルコール量の変化を測定。

試験	試験温度	試験濃度	試験結果
アルカリ安定性	20	2%	4週間、加水分解無し
経時安定性	50	2%	3ヶ月安定(pH3~11)

酸性染料に対する濃染効果

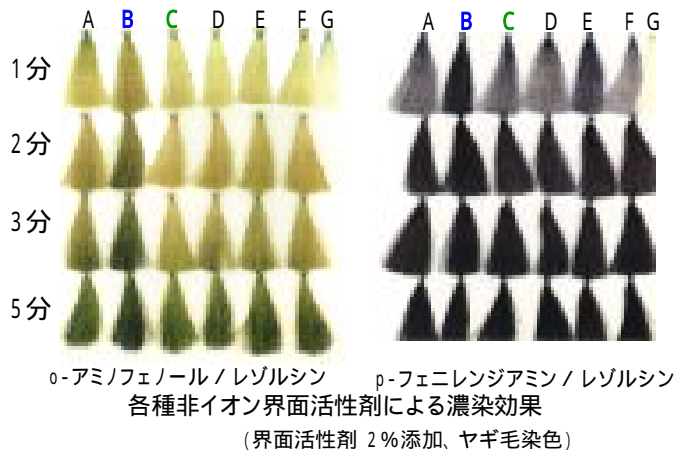
SUCRAPH AG-8 は、酸性染料に対しても濃染効果があります。

酸性染料による毛髪染色系
(ベンジルアルコール3%共存系)へ
SURAPH AG-8(2%)を添加することにより、
染色効果の増大が認められました。



タール系色素のケラチンに対する吸着量
(BLANKを100とした時の吸着量比)

酸化染料に対する速染・濃染効果



SUCRAPH AG-8 には、
酸化染料の速染・濃染効果があります。

NO	界面活性剤の種類
A	ブランチレン1200(ハンゲルAGP : C12~C16)
B	Sucraph AG-8
C	Blank(界面活性剤無添加)
D	ブランチレン2000(ハンゲルAGP : C8~C16)
E	リボノックスNC-300(ライオン : ニルフェル系)
F	PBC-34(日光ケミカルズ : POE、POP系)
G	未処理

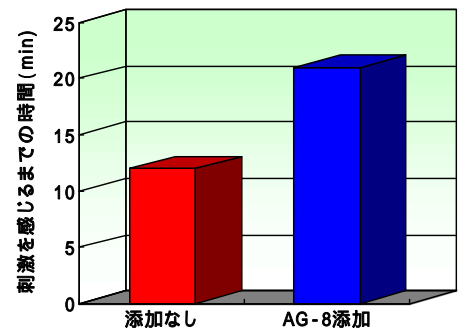
酸化染毛剤・脱色剤の刺激緩和効果

酸化染毛剤・脱色剤にAG-8を添加することで
頭皮に受ける刺激を緩和します。

試験方法)

市販酸化染毛剤の1剤、2剤を混合する際にAG-8を3%添加し、均一に混合した。
被験者の上腕内側に作成した酸化染毛剤を0.1g塗布し、上から軽くラップで覆った。
塗布してから刺激を感じるまでの時間を測定した。

* AG-8は1剤、2剤ともに自由に配合が可能です。

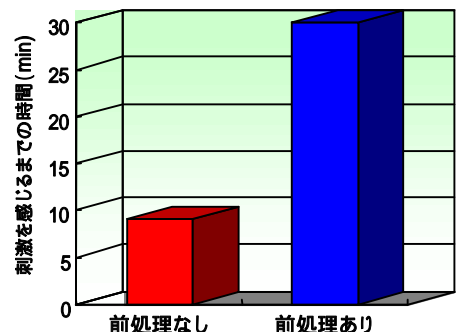


酸化染毛剤・脱色剤の前処理剤としての刺激緩和効果

AG-8で前処理を行うことでカラーリング時または
脱色時に受ける刺激を緩和させることができます。

試験方法)

被験者の上腕内側に酸化染毛前処理剤を0.1mL塗布し、乾燥させた。
前処理を施した箇所に混合した酸化染毛剤を0.1g塗布し、上から軽くラップで覆った。
塗布してから刺激を感じるまでの時間を測定した。(測定時間は最大30分までとする。)



シャンプー配合による褪色抑制効果

シャンプーに配合することで、毎日のお手入れによるヘアカラーの褪色を抑制します。

E
3.38

ヘアカラー用シャンプー処方

配合原料(成分名/製品名)	配合量(%)
SUCRAPH AG-8(日本精化)	5.0
ラウレス硫酸Na(27%)	18.0
ラウレス硫酸アンモニウム(23%)	40.0
コカミドプロピルベタイン(30%)	8.0
コカミドDEA	2.0
カチオンNH*(日本精化)	1.2
メチルパラベン	0.2
フェノキシエタノール	0.2
精製水	残余

方法) シャンプー中の活性剤濃度を1%に希釈(AG-8濃度0.3%)し、市販ヘアカラー処理した染色試験布を48時間浸漬させた後、試験布の色を測定し、Eを算出。

